

【RI水分計によるフレッシュコンクリートの単位水量連続測定(認定区分 FA)】

研修・試験のご案内

一般財団法人 日本建築総合試験所

本認定制度は建設業務のさらなる適正化と、技能者の社会的立場の確立を目的として、コンクリートの現場試験業務が適正に行える能力を持つ技能者を認定・登録しています。

認定区分 FA では、(社)日本建材・住宅設備産業協会の団体規格 JCMSⅢ-C2309「ラジオアイソトープ水分計によるフレッシュコンクリートの単位水量連続測定方法」による測定が、適正かつ円滑に実施できる現場試験技能者を認定しています。本認定制度をご利用いただき、技能の修得、専門知識の向上にお役立てください。

【新型コロナウイルス感染拡大予防に向けた対応について】

- ・該当する業種ごとの感染拡大予防ガイドライン等に基づき適切な感染予防策を講じつつ実施する所存です。具体につきましては、後日送付いたします「案内通知書」にてご案内をさせていただきたいと考えています。本研修会にご参加いただけます各位のご協力をよろしくお願い申し上げます。
- ・今後の状況等によりましては、開催予定が変更となる場合もございますこと、あらかじめご承知願います。

1. 申込期限

2020 年 11 月 27 日 (金) 必着

申込書
(Word 版)

2. 開催地および実施日時・定員・会場

開催地	実施日		時間		定員	会場
大阪	研修	2020 年 12 月 20 日 (日)	9 : 30 ~ 17 : 00		10 名	(一財)日本建築総合試験所 神戸研修所 (神戸市中央区港島南町 3-3-7)
	試験	2021 年 1 月 23 日 (木)	実技	9 : 30 ~ 17 : 00 のうち 約 60 分/人		
			筆記	12 : 15 ~ 13 : 15		

3. 研修・試験の内容

	講義	実技
研修	<単位水量一般> ・コンクリートの各種物性・耐久性と単位水量 ・単位水量測定技術の現状 ・単位水量の管理・検査 <測定方法について> ・JCMSⅢ-C2309「ラジオアイソトープ水分計によるフレッシュコンクリートの単位水量連続測定方法」の説明 ・測定原理、測定機器の説明および取扱い手順、放射線の話など ・検証実験結果、現場適用事例	測定機器の説明 室内校正試験 ・測定機器の取り付け ・室内試し練りコンクリートによる実測 擬似現場測定 ・測定機器の取り付け ・擬似データによる測定 点検方法の説明
	筆記	実技
試験	学科研修の内容 ・単位水量一般 ・測定方法について ・その他	・擬似データによる実技 (室内校正&現場測定) 機器の取付け、測定、記録、結果の報告 ・口頭試問 (1~2 問) ・その他

4. 受験資格：以下の①および②または①および③に該当する方。

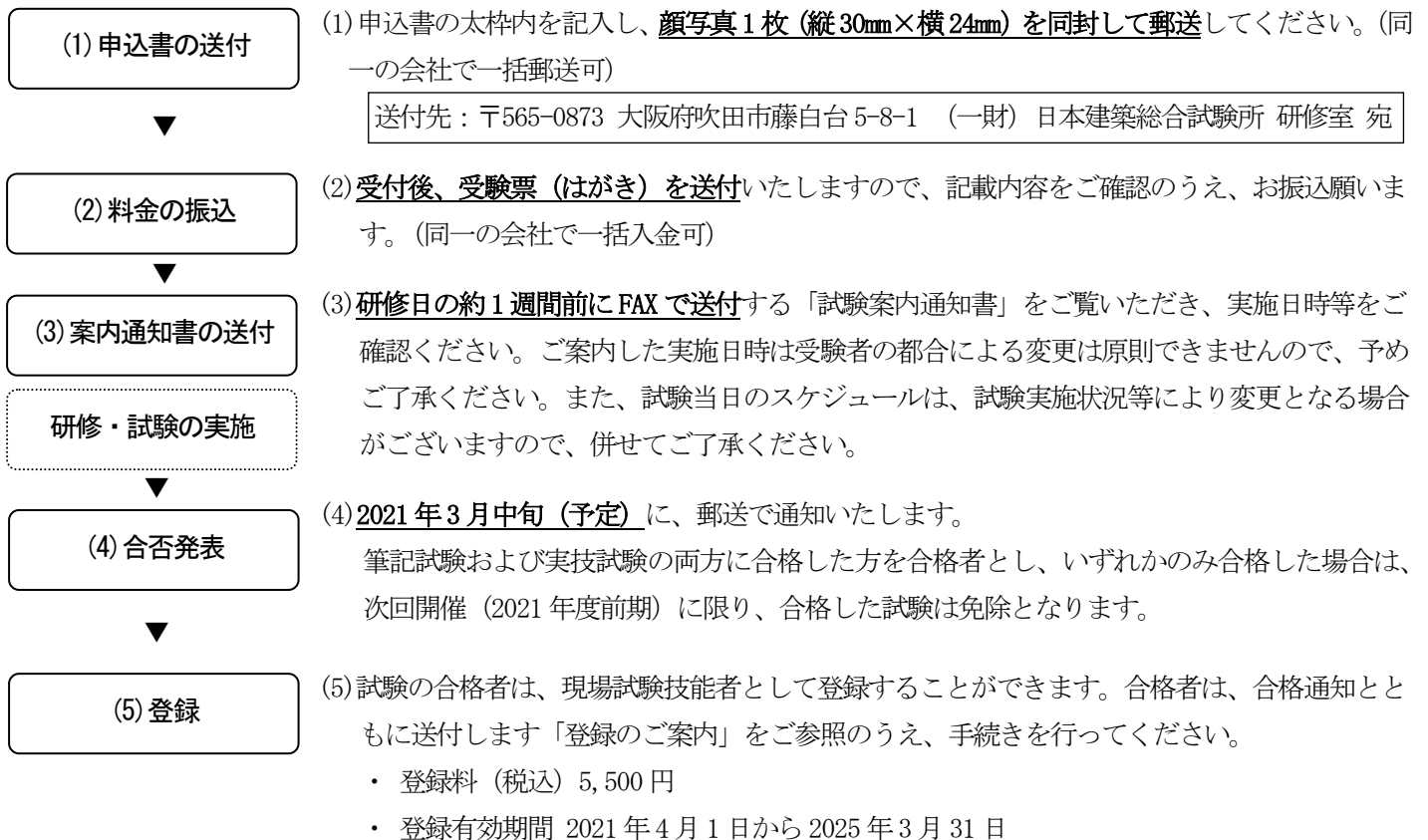
- ①研修を受講された方。
 - ②フレッシュコンクリートの受入検査（認定区分F）」の認定登録者。
 - ③RI水分計によるフレッシュコンクリートの単位水量連続測定（認定区分FA）」と「フレッシュコンクリートの受入検査（認定区分F）」を同時に受験する方。*
- *詳細については別紙「認定区分FAにおける受験資格および認定登録資格について（改定）」をご覧ください。

5. 料金

合計（税込）	=	研修（テキスト代含む）	+	実技試験	+	筆記試験
31,900円		20,900円		5,500円		5,500円

※各開催日の前日までにキャンセルのご連絡がない場合、料金の払戻しはいたしません。

6. 申込から登録までの流れ



【サーベイランスおよび登録の更新について】

サーベイランス：登録有効期間の中間期（登録から約2年後）に受験していただく必要があります。（詳しくは、ホームページをご覧ください。）

登録の更新：サーベイランスにおいて「適正」と認められた方のみ更新試験（実技試験）の受験が可能です。更新試験に合格し、登録手続きをとることにより登録が更新されます。

いずれも、対象者の方には随時ご自宅へ案内を送付いたします。なお、有効期限は、更新試験実施の際の当該受験地での開催ならびに開催の期間（前期・後期）を約束するものではありません。あらかじめご承知ください。

7. その他

- ・会場へのアクセス詳細については、当法人のホームページでご確認ください。
- ・台風・地震・豪雨等の自然災害により研修の開催を中止・順延する場合があります。やむを得ず中止・順延する場合は、開催日の前日14時以降に、当法人ホームページ「お知らせ」でご案内いたします。

【お問い合わせ先】（一財）日本建築総合試験所 試験研究センター 研修室
〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-8-1
TEL 06-6834-4775 FAX 06-6872-0413
E-mail:kensyu1@gbrc.or.jp
問合せ対応時間：平日 9:00～17:15



認定区分 FA における受験資格および認定登録資格について(改定)

○FA の受験資格

「①FA の直近の研修受講者」かつ「②F の認定登録者あるいは同時受験者」*

●FA の認定登録資格

「①FA の直近の試験合格者」かつ「②F の認定登録者あるいは同時受験の試験合格者」*

*【解説】FA の受験時に F の認定登録者でない場合でも、FA と同時期に F を受験（F と FA の同時受験）し、両者の試験のいずれにも合格すれば FA の認定登録資格を付与します。なお、FA の認定登録のみを希望される場合は F の認定登録（手数料必要）までする必要はありませんが、F の資格が必要な場合は F の認定登録を行ってください（表-1 参照）。

また、同時受験において、F が不合格の場合は FA の認定登録資格は認められませんので、たとえ FA が合格しても FA の認定登録はできません。ただし、次回開催の F まで FA の試験合格は有効となります。次回開催の F を受験し、不合格の場合は FA の試験合格は無効となります。合格の場合は、表-1 の「パターン A」と同様となります。なお、後者の場合で FA の認定登録をする場合は、初回の登録期間は、3 年半となります（表-1 参照）。

表-1 同時受験における FA の認定登録までの主なパターン

パターン	区分	同時受験		注意事項
		試験	認定登録	
A	F	○	不要	FA の認定登録のみ必要な場合は登録不要
	FA	○	可	認定登録可
B	F	○	必須	FA の試験合格まで認定登録の維持（更新維持）必要
	FA	×	—	FA の試験合格まで受験
C	F	×	—	F の試験合格まで受験
	FA	○	不可	次回開催の F まで FA の試験合格は有効。 次回開催の F を受験し、不合格の場合は FA の試験合格は無効になる。合格の場合は上記「パターン A」と同様となる。なお、後者の場合で FA の認定登録をする場合は、初回の登録期間のみ 3 年半になる。

【記号の説明】 ○：試験合格、×：試験不合格

注) 開催頻度は、F は 2 回/年（前期・後期）、FA は 1 回/年（前期のみ）。

◆FA の認定登録の維持について

FA の認定登録を維持する場合、これまでは F の認定登録の維持（更新維持）が必要でした（F を失効すれば FA も自動的に失効）が、この度、その制限がなくなりました。従いまして、FA の新規での認定登録時には F の認定登録者あるいは同時受験時の F の試験合格者のいずれかは必要ですが、FA の認定登録の維持の際には F の認定登録を維持している必要はありませんのでご注意ください。

FA および F の認定登録はそれぞれ独立していますので、両者が必要な場合は、それぞれの区分で認定登録の維持（更新維持）を行ってください。